

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 21年 3月 15日
事業所名	グループホームさくらひまわり
ユニット名	ひまわり
事業所番号	
記入者名	職名 管理者 氏名 久保田 富子
連絡先電話番号	0561-55-7977

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		いつも笑顔を忘れず実践にむけ努力している。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	今後も自治会の行事に積極的に参加し、馴染みの関係をつくり立ち寄って貰えるようにしたい。回覧板は入居者と一緒に届け立ち話をして帰るようにしている。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	ホームの行事を近隣の方にも配布し気軽に立ち寄って頂けるようにしたい。保育園での運動会の競技にも参加させて貰ったり、ホームで一緒に過ごしたり、公園で遊んだりと交流を図っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームで役立つ事はないか常に前向きに考えているが、行ってはいない。	○	認知症介護で困っている方達がいつでも相談に来れるようにしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を基に改善しなければいけないところを、少しずつ取り組んで業務をしている。評価された物をファイルにしていつでも読むことが出来る。		評価が出るとその内容を職員に話し、改善に努力している。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そのでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催し、利用者さまに係わる事柄、それに伴う仕事、行事等話し合いを行ってサービス向上に活かしている。	○	地域の方の参加が少ないないため、参加して頂けるよう改善策を考える。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの空き情報を電話にて報告し連携をとっている。 行き来する機会は余り無い。介護相談委員の訪問を受けている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修により学び必要な方にはそれを活かし支援している。 個々の必要性を面会時に家族と話し合い、それに応じた支援を行っている	○	学ぶ機会が少なかったもので、これから学んで行きたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、会議などで学び、利用者への虐待がないよう注意している。 言葉遣いにおいては命令調にならないよう、お願いする気持ちを心掛けている。 常にさせて頂いている心を持ち、他の職員の対応についても注意を払っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>疑問点をたずね、十分な説明を行っている。契約に関しては納得して頂いてから印を押して貰っている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議やホームの会議等で入居者の意見や不満、苦情があれば話し合い運営に反映させている。毎日の会話の中で不満などないか確認している。入居者の不満や苦情は常に聞き入れ職員で話し合い支援の工夫をしている。</p>	<p>○</p> <p>介護相談員の受け入れを行っている。利用者様や家族が不満や苦情を言いやすいよう、関係を作っていく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は小遣い帳を用い必要時見て頂いている。毎日の暮らしぶりを記録に残し、いつでも提示出来る状態にある。定期的に介護計画を見直し個々に報告している。体調面、精神面に変化があれば電話で報告。生活においては面会時随時報告している。</p>	<p>○</p> <p>毎月の通信により、暮らしぶりは報告している。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時声掛けをし、話して頂ける環境作りをしている。運営推進会議に参加して頂きそこで意見を聞き運営に反映させている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回スタッフ会議を設けており意見、疑問点を討論しあいスムーズに運営できるように努めている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>基本的な人数に対しての職員数は確保している。状況の変化に対応出来るように勤務の調整に努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動や離職は最小限に抑えるように努力し、馴染みの関係を大切にしている。 職員が退職した事はあえて告げない。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加する機会もあり、又研修会の情報が掲示されており職員の育成に取り組んでいる。解らない事があると管理者が私物の本や実体験で教えてくれる。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会を通して、サービスの質を向上させている。	○	交流や地域での勉強会に参加したい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	過度の勤務が続かないように、シフト考え作成されている。 時間がとれる限り話しを聞いて貰えアドバイスを貰える環境である。 休憩は休憩室でくつろげる。年に1～2回親睦会を設けている。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力や実績、勤務状況を考慮して評価して貰っている。その結果向上心を持ち業務に挑める。 個々の能力に応じアドバイスして貰える。 良いことは誉め、出来ていない事は指導して貰い向上心を持って働けるようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>常に入居者の状況、状態を見守り、受け止める努力はしている。</p> <p>担当者が中心となり安心して生活できるよう、話す機会をつくっている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面会時に生活の様子などお知らせしたり、気楽に話し掛けて頂く雰囲気作りに心掛けている。</p> <p>時間をかけ話しを聞き、入居後のケアにも活かしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時の必要に対応し、さらに良いと思うことを伝え理解して貰っている。迅速に対応している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に何度か来て頂いたり、入居後しばらくの間は家族にも来て頂けるようにし徐々に馴染めるようにしている。統一したサービスを提供している。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>出来る事をして頂き、その方が主役になれる場を提供している。日々の会話の中で本人が望んでいる事は実行出来るように努めている。常に感謝の気持ちで、人生の大先輩である利用者様に育てて貰い、一緒に考え、悩み、笑いを共感している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の日頃の過ごし方を伝え安心感を持って頂くよう努めている。家族にも協力をお願いし共に支えていって頂ける関係を築いている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活歴において入れない部分もあるため関係を理解し、支援している。 家族との外出や外泊等家族と一緒に過ごす時間を大切にしている。	○	忘年会、クリスマス会には家族にも参加して頂いている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔の友人や近隣の知り合いが気軽に遊びに来て頂けるようにしている。馴染みの場所への外出。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが間に入り孤立することなく共同生活出来るよう援助している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後もその後の状態を家族から伝えて貰える事がある。	○	退居後も利用者様の面会に行くことがある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個室には愛用の家具が於かれ、今までの暮らしを継続出来、自分だけの時間を持つことが出来る。個々で対応出来る時間帯の中で不安な心を受容している。</p> <p>本人が主体となるようにケアしている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や、生活環境を職員全員が把握して援助している。</p> <p>本人の暮らししてきた馴染みの品等居室に置き安心出来る暮らしに努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎月1回のミーティングを行っており本人にとって1番良い方向を検討している。毎日バイタルチェック表や、記録表により変化や現状を把握している。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>半年に1度見直しを行い、本人にとって良いケアの在り方を家族と話し合い作成している。</p>	<p>○</p> <p>介護計画作成している</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直し、新たな課題についても家族と話し合いながら計画を作成している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に毎日細かく記録している、又始業前には必ず目を通すよう徹底している。個別の排便排尿チェック表の記録。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状態に併せて柔軟な対応をしている。	○	通院
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々や、消防の協力の基支援を行っている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、必要性似合わせ支援している。	○	訪問マッサージ 訪問理美容
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じ地域包括支援センターと協働している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向によりかかりつけ医を決めて頂いている。 月2回ホームのかかりつけ医による往診を実施している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホームのかかりつけ医師とは些細な事でも相談している。その他の利用者様に関しては、受診の際変化や症状を家族に伝え診て頂くように支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師であり、常に健康管理に気を配ってもらえる。 職員に看護師があり、日常の健康管理を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時点で情報交換や、相談を家族と共に連携している。 様子観察の為お見舞いに出掛けている。退院後、当ホームでの生活が困難場合は他施設の照会、相談を受ける。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、重度化した場合の話は、行われている。 早い時期から、家族の方に伝え、納得の上で方針を共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来る事、出来ない事の個人表があり、それを見つめ直し、かかりつけ医と共に支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	他施設へ転居される場合は、直接相手方に情報を伝え、尚かつサマリーを書き移り住んでいただいている。	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いには注意しており、他の利用者に配慮した声掛け対応をしている。</p> <p>職員の不適切な行動、言動においては、その場で管理者、運営者から注意、指導される。</p> <p>記録物は、職員以外目の触れない場所に保管している。</p>	<p>○</p> <p>月2回の反省表で自己チェックするようになっている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の意見が言いやすい様、分かりやすい言葉での声掛け等を行っている。</p> <p>希望や要求の度合いにより、スタッフ、管理者、家族で話し合い出来るだけ希望に添うように努めている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の流れの中で、自由な時間を作り、それぞれ過ごしてもらっている。</p> <p>一人一人のペースに合わせての声掛けを行っている。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望に合わせて、訪問理容、訪問美容、家族と馴染みの美容院に行けるよう支援している。</p> <p>利用者様の服装については個人意見を尊重しつつ、機能性や配色を工夫している。行事にはおしゃれするようにしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は、当番を決め、職員と一緒にやっている。(その日の利用者様の気分により変更有り) 食事、片付けも一緒にやっている。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	管理出来る方は、おやつも職員と一緒に買いに行き、自己管理している。 たばこは、スタッフが管理し、1日数本吸っていただいている。	○	毎月1度お菓子作りを、利用者様と一緒に楽しんでいる。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作って、一人一人の排泄パターンを把握し、支援している。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には毎日入浴有り、体調、状況、希望に応じて入浴して頂いている。 一人一人の希望に合わせる事は出来ないが、楽しんで入浴出来るよう努力をしている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝具を、清潔に心掛けている。 居室でのプライバシーは大切に、穏やかに休息出来るよう支援している。 生活習慣を把握し、夜ぐっすり寝ていただけるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人に出来る力を活かしていただき、積極的に家事全般の手伝いをしてもらっている。行事に使用する物品を一緒に作ったり歌の練習をし、カラオケにも出掛けていく。 買い物、ドライブ、誕生日会や季節に合った行事を取り入れ、楽しんでもらえるよう支援している。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来る方は、所持していただいている。その他の方は家族より預かり、事務所で管理している。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の体調や、天候に合わせ、職員と一緒に散歩、買い物等に出掛けられるよう支援している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の面会時に、本人の希望を伝え、家族の方にも協力していただけるよう支援している。初詣、紅葉狩り、カラオケ、忘年会等出掛けている。	○	リトルワールドへ車で少し遠出し(弁当持ち)喜ばれたため今後も継続したい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、電話で話をする事ができる。自ら電話をかける事はないが、かかってきたら本人にかわる事はある。手紙のやりとりは支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問できるよう対応しており、居室や、リビングでくつろいで面会できる。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解しており、常に本人の思い、状態に応じた温かいケアに努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者が一人で外に出て行かれる為、玄関は施錠しているが、居室には掛けていない。	○	鍵を掛けないケアを工夫したい。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、夜間共、入居者の所在、様子を把握し、安全に生活できているか配慮している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物、薬、消毒剤等の管理は、目に付かない場所に保管されている。 本人の状態に応じ、はさみや針、ライター等は、預かっている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会、日常の申し送り等で、事故防止に努めている。 一人一人の状態に応じ、半介助したり、見守り介助をしている。年2回防災訓練を実施している。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当マニュアルがあり、急変、事故発生時には、すぐ対応できるようにしている。 応急手当の訓練を受けている。 ほとんどの職員がAEDの講習会に参加している。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、避難訓練を実施しており、スムーズに避難できるよう努めている。 地域の人々との働きかけはしていない。	○	夜間の避難の仕方を話し合っていきたい。地域資源をいかし一緒に訓練が行えると良い。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態に応じて電話や面会時に、家族と連絡を取り合っている。 ケアプランを立て、家族に説明し、了解を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックをしており、異常があれば管理者に報告している。 必要があれば家族にも連絡し、職員同士も情報を共有し、すぐ対応できるようにしている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬のファイルがあり、それを参考に目的、副作用、用量用法について理解している。 連絡ノートにより詳しい内容、取り扱いが伝えられる。 服薬をしたか一人一人見守っている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の必要性を話し、お茶はもちろん牛乳やヨーグルト等を多く取り入れ、予防に努めている。 朝の掃除や体操等行っている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っており、本人の状態に応じ見守り、介助を行っている。 入れ歯の消毒を週に2回行っている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	三食の食事量を記入し、食事量の把握をしている。 栄養士の作ったメニューにより、バランスの摂れた食事を提供している。 月に2回体重測定をしており、変化に応じた対応をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルがあり、それを実行している。 勉強会で学び予防や対応に取り決めがある。 外出後や食事前には、手洗い、うがいを励行している。インフルエンザの注射は毎年全員行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具及び、一部の食器は、週に2回殺菌、消毒している。 食材は、新鮮な物を業者から配達してもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	バリアフリーになっており、スムーズに出入りができる。 木造1階建てで、玄関が引き戸になっていて、全体が昭和の雰囲気があり、親しみやすい。 道路に面しており、脇には花壇があり、スロープ、手摺りもある。ベンチを設け座って靴の着脱ができる。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓があり、自然の光の中で、1日の流れ、季節の移ろいを感じ取れる作りになっている。 夜間は、廊下に足下灯があり、睡眠の妨げにならないよう配慮している。 季節の花を飾ったり、掲示したりしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったりとくつろげるソファがあり、テレビ等を一緒に観られる。 居間には畳敷きの和室が設けられ、こたつが置いてある。ウッドデッキのベンチでおしゃべりや、日向ぼっこをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具を居室で使っていただいている。また危険がないように、本人、家族と相談しながら好みの配置にしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日に数回窓を開け、換気をしたり、また天井のファンを回し空気の流れを変えている。掃除時には、必ず窓を開け行っている。トイレは殆ど1日中換気扇を回している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、お風呂等手摺りが付いており、安全面の工夫がしてある。バリアフリーで危険がないように作られている。ソファは立ち上がり易い高さにしてある。廊下の手摺りも工夫されている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや居室には、名札を付けている。個人のタンス等にも入っている物が分かるようにシールが貼ってある。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周囲や、中庭には、花壇や畑があり、一緒に育てている。テラスにベンチが置いてあり、ゆったりとたばこを吸われている。中デッキで運動会や、食事会、ハーモニカの演奏会をしている。中庭に実のなる木が植えられており、収穫の楽しみや食する喜びを味わえる。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

一人ひとりのニーズにあわせ、温もりのある援助を行っている。
スタッフがいつも笑顔でいる事。こもらず郊外に出掛ける。不安無く安心して暮らして頂く。